

# 令和2年度 宮城県土木部との意見交換会

広報委員会 渉外部会長 米川 康

## 1. はじめに

宮城県土木部と（一社）東北地質調査業協会の意見交換会が、令和2年11月12日（木）10:00～11:30 宮城県庁 第一会議室にて開催されましたので以下にご報告いたします。

## 2. 出席者

宮城県土木部からは、土木部次長（技術担当）菅野洋一様、土木部事業管理課課長木村嘉雄様、土木部事業管理課 技術副参事兼課長補佐（総括担当）板橋 治様、土木部事業管理課 技術補佐（班長）千葉祐二様、土木部事業管理課 技術補佐（班長）小山昌宏様、土木部事業管理課 主任主査（副班長）藤村和弘様の6名がご出席されました。

当協会からは、奥山理事長、橋本副理事長・広報委員長、太田副理事長・総務委員長、寺田理事・技術委員長、熊谷理事、今村理事、江本理事、仲井理事、山浦理事、三浦理事、加藤監事、白鳥監事、早坂顧問、東海林事務局長、記録として米川渉外部会長、佐藤渉外部会委員、坂下渉外部会委員、上野渉外部会員の18名が出席しました。

## 3. 主な内容

### 議題Ⅰ 担い手確保・育成のための環境整備

#### （1）安定的かつ継続的な予算の確保

「宮城県地方創生総合戦略」「宮城県国土強靱化計画」「宮城県公共施設等総合管理方針」に欠かせない存在である建設関連業界の維持・発展のための継続的な予算確保についての要望を行いました。また、若手技術者のために将来を見通した経営を行うために中長期的な見通しと構想についても尋ねました。

宮城県からは、防災・減災国土強靱化のための3カ年緊急対策事業が終了した後も同様の予算確保について知事が直接国に要望しており着実に確保できるよう努めると回答がありました。

また、地質調査業務が土木コンサルタント業務に含まれて発注されているケースも散見されているため、地質調査業務の分離発注を要望しました。

宮城県からは、極力分離発注に努めると回答がありました。

#### （2）入札契約制度の改善

低入札を抑制するための失格基準などの制度導入の要望、総合評価における業務実績を担当者として従事した場合も認めるよう改善を要望、設計JV制度の活用促進の要望、国土交通省に準じた担当業務数10件への変更の要望を行いました。

宮城県からは、担当技術者としての実績評価については今後の検討課題とさせて頂きたい、管理補助技術者制度の活用を検討してほしい、これまでやってきた制度の効果を見極めたうえで、低入札失格制度の導入の是非を検討して参りたいと回答がありました。

.....

また、管理技術者としての手持ち業務数は国が運用している技術者を含み10件までとした場合との比較検討を進めているところです。県としては担当技術者としての位置づけが制度改善における重要なポイントと考えております。引き続き各団体との意見交換会等で情報を共有させていただきながら手持ち業務数の検討をしてまいりますと回答がありました。

### (3) 業務の早期発注と繰り越し業務の採用

発注工期の分散のために早期発注と繰越制度採用業務を増やすよう要望しました。またボーリング等の現場作業の積雪期を避ける年度初期の発注を要望しました。

宮城県からは、発注時期の分散に努めるとともに平準化を目的とした債務負担行為の設計や、積極的な繰越制度の活用についても関係機関との調整を図り検討すること、また本県の豪雪地帯におけるボーリング等の現場作業を伴う業務について、積雪期の作業を避けるような発注に心がけて参りたいと回答がありました。

## 議題Ⅱ 要望事項

### (1) 地質調査業務の講習会開催

地質の基本から応用までの説明や地質調査業務の積算について、宮城県職員向けの地質調査研修会の再開の要望を行いました。

宮城県からは、講習会、研修会を委託している（公財）建設センターの方と研修会のあり方、開催の仕方の中で貴協会から講師を派遣して頂くように、我々としても調整をしたいと回答がありました。

### (2) 災害協定に基づく東北地質調査業協会への対応要請および会員の活用について

今後の災害発生時における東北地質調査業協会への災害対応要請と協会員各社の活用を要望しました。

宮城県からは、防災協定を踏まえた、今後の災害対応にかかる要請のあり方について、庁内関係課を交えて改めて検討して参りたいと回答がありました。

## 全体質疑

- 多くの質疑・意見交換がなされました。その中から宮城県から以下の回答がありました。
- ・災害復旧で、その原因を調査するということが非常に重要だと考えており、今後大規模な災害があったときには要請させていただきます。
  - ・BIM/CIM等の三次元化やICT技術について、成績評定とか総合評価の中での加点適用を地質においても対象として検討していきたい。

.....

#### 4. おわりに

昨年度までは建設コンサルタンツ協会東北支部、宮城県測量設計業協会との三協会合同での宮城県への働きかけを行っていましたが、今年度は当協会単独での意見交換会を行いました。

当協会との意見交換会を快く承諾して頂き、司会進行や資料の作成など多大なご協力を頂いた宮城県土木部事業管理課の関係各位に厚く御礼申し上げます。また、当協会の渉外部会員ほか記録・写真係を担当された方々に深く感謝いたします。

以 上